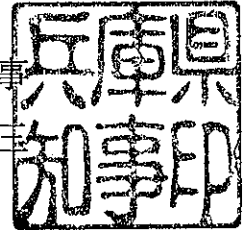


道計第 1007 号  
平成 19 年 5 月 1 日

国土交通省道路局長

宮田 年耕 様

兵 庫 県 知 事  
井 戸 敏 三



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日 国道企第 114 号で依頼のありました件について、  
別紙のとおり回答いたします。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

### I 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

阪神・淡路大震災からの創造的復興の新たなステージとなる「元気な兵庫」を目指す本県では、それを支える安全と安心の兵庫の実現に向け、県内外の交流・連携を促進し、地域の個性を活かす最も基礎的な社会基盤として道路の整備が求められている。そのため、県土の骨格となる基幹道路網の整備をはじめ、慢性的な交通渋滞の解消・緩和、災害時の緊急輸送路や代替路の確保、すれ違い区間の解消、交通事故の削減、沿道環境の改善等、数多くの課題解決に向け積極的に取り組んでいる。

このような実情を踏まえ、国におかれては道路整備を計画的に進めるために必要となる財源を安定的に確保するとともに、地域のニーズに応じた道路政策についてスピード感をもって推進すべきである。

#### 1 県土の骨格を形成し、地域の個性を活かす基幹道路のスピード感を持った整備促進

##### (1) 国際物流基幹ネットワークを形成する高速道路網の整備

国際競争力の強化が求められている大都市圏では、慢性的な交通渋滞やミッシングリンクを解消し、国際空港・スーパー中枢港湾などの国際物流拠点相互やそれらと国土軸とを連携する国際物流基幹ネットワークを早期に形成すべきである。

そのため、大阪湾岸道路西伸部や名神湾岸連絡線、新名神高速道路、播磨臨海地域道路（神戸姫路間道路）等の高速道路網の整備促進・早期事業化が望まれる。

##### (2) 環日本海地域を形成する高速道路網の整備

東アジアの交流圏の形成、地域格差の是正・自立に向け、資源、物流、交通等の重要性が増す日本海側では、交通・物流基盤の強化が喫緊の課題であり、環日本海地域を形成する高速道路網の整備が急務である。

このため、鳥取豊岡宮津自動車道を高速道路網として、整備促進が望まれる。

##### (3) 環日本海地域と京阪神都市圏を結ぶ高速道路網の整備

県土の均衡ある発展のためには、資源、物流、交通等で重要な役割を果たす環日本海地域と太平洋側の都市圏との連携・交流強化が必要である。

このため、北近畿豊岡自動車道、中国横断自動車道姫路鳥取線（播磨新宮～山崎間、佐用 JCT以北）の整備促進が望まれる。

## 2. 県民の暮らしや地域の連携を支える道路整備の推進

### (1) くらしと交流を支える道路整備

- ・地域内の交流連携及び防災機能の強化等を目的とし地域の骨格を形成する東播磨南北道路、東播丹波連絡道路等の南北幹線道路等の整備
- ・市町合併に伴う生活基盤の広域化などの新たなニーズに対応した合併支援道路の整備

### (2) 安全・安心を確保する道路整備

- ・災害時の広域防災拠点や港湾・空港へのアクセスを確保する緊急輸送道路の整備
- ・道路の適正管理に向けた雪寒対策や防災対策の推進
- ・ユニバーサルデザイン化など安全で快適な歩行者空間の整備
- ・大量更新時代を迎える橋梁等の長寿命化に向けた対策の推進

### (3) 交通渋滞の解消に向けた道路整備

- ・交差点改良や街路網整備など県民生活に大きな支障を与えている慢性的な交通渋滞の解消・緩和対策の推進
- ・連続立体交差事業など、踏切事故やボトルネック踏切対策の推進

### (4) 快適な生活環境を創造する道路整備

- ・良好な沿道環境や質の高い道路空間を形成し、地域の特性を活かした地域づくりを支援する道路整備
- ・無電柱化など沿道環境の改善や安全で快適な歩行者空間の確保

## II 効率化を進める上で重視すべきこと

道路に係る財政事情の厳しさが増す中、道路の管理延長の増加に伴う日常的な管理費用や施設の老朽化により維持管理費用等が増加し、新たな道路の整備費用を圧迫しつつある。

今後、適正な維持管理と道路整備に取り組むためには、効率化をさらに進める必要があり、選択と集中による必要性の高い事業への重点投資、地域の実情に応じたローカルルールを採用、アセットマネジメント手法の導入による施設の適切な維持管理、民間技術の積極的な活用など、より一層のコスト縮減に積極的に取り組むべきである。

さらに、県民の理解と協力を得るため、入札制度の適正化、事業評価システムの徹底など事業実施の透明化を図るとともに、「つくる」「まもる」「育てる」のそれぞれの段階において住民の参画と協働を進め、多様化する道路整備のニーズへの対応と事業のスピードアップを図ることが重要である。

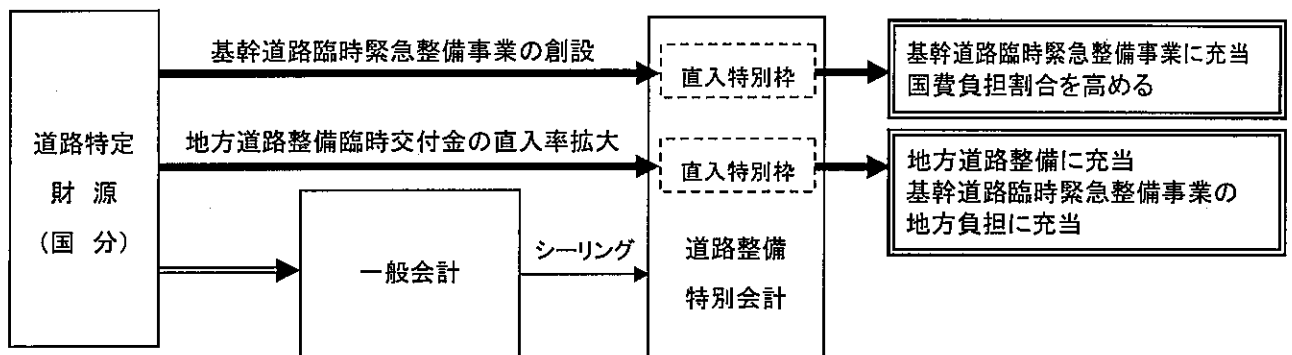
### Ⅲ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

#### 1. 道路特定財源の安定的確保と地方への配分強化

県民の経済・社会活動を支える基礎的な社会資本である道路は、着実な整備が必要であり、深刻な交通渋滞をはじめ、橋梁等の更新費用の急激な増大など、数多くの課題解決が求められている。

本県をはじめとした地方は、これまでも道路特定財源以外の多くの一般財源を道路整備に投資しており、国におかれては地方の実情や意見を十分に踏まえ、以下の事項について積極的な取り組みと格別の支援を求める。

- 1 真に必要な道路整備を計画的に進めるため、道路整備に必要な財源を安定的に確保すること
- 2 遅れている地方道の整備と計画的修繕・更新を地方公共団体が主体的に行えるよう、これらに充当する地方道路整備臨時交付金の直入率を拡大するなど、道路特定財源の地方への配分を高めること
- 3 国の産業、経済、文化の発展に大きな役割を果たす基幹道路については、重点的に整備を行うとともに地方負担の軽減を図るため、シーリング枠外で道路特定財源を充当する新たな制度（基幹道路臨時緊急整備事業）を創設すること



※ 平成20年度に5つの特別会計が統合予定。統合された特別会計からの支出にシーリングが移行した場合、直入特別枠をシーリング対象外とする。

- 4 有料道路制度に道路特定財源の役割を的確に位置づけるとともに、高速道路ネットワークの有効活用と物流コストの低減を図るため、阪神高速道路の対距離料金体系案（基本設計イメージ）及び本州四国連絡道路の料金体系の抜本的な見直しや弾力的な料金設定など、道路特定財源の道路整備に関連した幅広い活用等について取り組むこと
- 5 高速自動車国道等と一体となったネットワークを構成する地方道路公社の有料道路についても、より利用しやすい通行料金を実現するため、料金徴収期間の柔軟な設定や新たな支援制度の創設を図ること

## 2. 広域の見地から必要な基幹道路の「中期的な計画」への位置づけ

県内外の交流・連携を促進し、地域の個性ある発展を支える多様な交通基盤を構築するため、地域の活性化に資する以下の基幹道路について「中期的な計画」への位置づけ、整備促進及び早期事業化を求める。

- 1 新名神高速道路
- \* 2 大阪湾岸道路西伸部
- \* 3 播磨臨海地域道路（神戸姫路間道路）
- \* 4 北近畿豊岡自動車道
- \* 5 鳥取豊岡宮津自動車道
- 6 名神湾岸連絡線
- 7 中国横断自動車道姫路鳥取線（播磨新宮～山崎間、佐用 JCT以北）
  - \* 基幹道路臨時緊急整備事業による整備要望路線

## 3. 地域の多様なニーズに配慮した「今後の具体的な道路整備の姿」について

計画の検討にあたっては、移動時間短縮等による費用便益比のみに依拠することなく、医師が不足する地方における救急医療活動や医療機関の連携、観光や地場産業など地域に根ざした経済活動、大規模災害時の救助・救援活動など、地方の自立や生活する人々の命と健康を守る観点等、地域の多様なニーズが道路整備に十分に反映されるよう配慮することを求める。